

# 農村環境向上対策による学校教育と連携した農業体験学習

今年度も農地・水環境保全活動組織で農村環境向上対策事業として、学校教育と連携した活動が実施されました。5月18日の田植え作業は、にかほ市立金浦小学校5年生と地区活動組織会員による現在は見られない伝統的田植え作業と農業・食料・農業水利について学び、最後に生徒から体験感想を述べてもらい秋の豊作を期待して終了した。

今年は、春先の低温・夏の暑さも心配されたが、作柄も順調に進み9月27日に田植えを行った生徒と地区会員が汗を流しながら稲刈り作業を実施し、収穫を喜びながら農業体験について感想を述べて農業体験学習を終了した。

特に感心したのが、年々生徒の皆さんが真剣に田植え・稲刈り作業を行い、生育期間を現地で調査実施したことです。今年度の事業効果として、活動も5年間実施して生徒の皆さんが一生懸命作業に当り、一年を通してどのようにして生育されているか生育調査の実施と水・土・圃場内の生き物にも興味を示してきたことと、地域会員が積極的に多数参加してくださっていることを評価しています。

今後も地区活動組織・水土里ネットにかほ・関係諸団体機関と連携しながら継続していきたいと思っており、1月に予定されている小学校での地域住民との「交流会」及び生徒による農業学習展を楽しみにしています。



活動体制	
実施主体	飛地区農地・水環境保全活動組織
後援・連携	水土里ネットにかほ・にかほ市立金浦小学校・JA秋田しんせい金浦支店・にかほ市
実施期間	平成23年5月18日～平成23年9月27日
参加者	田植え作業：生徒37名・組織会員20名 稲刈り作業：生徒37名・組織会員21名
報道関連	にかほ市企画広報係・秋田しんせ農協金浦支店広報係
活動実施年数	9年
連絡先	〒018-0301 にかほ市飛字飛ヶ崎54 組織代表 佐藤 正春 0184-38-3646
その他	県奨励賞（H19）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネットにかほ（佐藤 正春）					
○活動の目標及び達成率	目標	農業体験学習を通じて農業・食料・農業施設等多面的機能の重要性			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	・5年目に入り充実してきている。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	多様な運動はしていない。
①役職員・組合員の参加	A	組織体制は確立している。非農家へも浸透している。	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	C	組織内で後継者に参加呼びかけが必要である。	①他組織との連携構築	C	連携はしていない。
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	B	理解を得ている。
①基本理念の設定	A	基本的な意識をもって取り組んでいる。	③施設管理・地域資源の保全強化	B	体験学習で充実させてきた。
②地域の歴史等の伝承	A	伝統的農法を実践している。	④運動の地域づくりへの関わり	B	水土里ネットからは支援をいただいている。
③運動の先駆性	B	他の手本になるよう実践している。	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	組織で継続を確認している。
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	体験学習により地域農業への関心を示している。
①運動の継続性	A	継続性を重要視している。	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	参加者も増えている。	・農業体験学習の実施も重要であるが、生徒の皆さんからは、水路のかんがい系統や水路・圃場内の生き物等について、当初の体験学習から見ると関心・質問が多く出されてきておりますので、可能であれば年2回（1回の実施では時間が足りない）程実施する計画を立てていきたい。		
③運動の計画性	A	年間計画を立てながら実践している。			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他